

# 子宮頸癌患者における抗ヒトパピローマウイルス(HPV)免疫回避機構

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-03-05 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00056998">https://doi.org/10.24517/00056998</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



子宮頸癌患者における抗ヒトパピローマウイルス（HPV）免疫回避機構  
(10671526)

平成 10 年度～平成 11 年度科学研究費補助金（基盤研究 C (2)）研究成果報告書

平成 12 年 3 月

研究代表者       笹川寿之        
(金沢大学医学部保健学科)

金沢大学附属図書館



8000-89053-4

はしがき

研究組織

研究代表者： 笹川 寿之 金沢大学医学部・保健学科 助教授

研究分担者： 瀬川 智也 金沢大学医学部・附属病院 助手

研究分担者： 小池 浩司 金沢大学医学部・医学科 助教授

研究分担者： 井上 正樹 金沢大学医学部・医学科 教授

研究経費

平成 10 年度 1,700 千円

平成 11 年度 1,000 千円

計 2,700 千円

研究発表

(1) 学会誌

1. T. Sasagawa, Y.-Z. Dong, et al., Immunoglobulins A and G responses against virus-like particles (VLP) of human papillomavirus type 16 in women with cervical cancer and cervical intraepithelial lesions. Int. J. Cancer, 75, 529-535, 1998
2. Y.-Z. Dong, T. Sasagawa, et al. Human papillomavirus, C. Trachomatis infection and other risk factors associated with cervical cancer in China, Int. J. Clinical Oncol. 3, 81-87, 1998
3. T. Noda, T. Sasagawa et al. Detection of human papillomavirus (HPV) DNA in archival specimens of benign prostatic hyperplasia and prostatic cancer using a highly sensitive-nested PCR method. Urological Research 26, 165-169, 1998.
4. T. Segawa, T. Sasagawa et al. FHIT Abnormalities and HPV E6/E7 mRNA Expression in the development of cervical cancer. Cancer 85, 2001-2010, 1999.

5. M. Shimakage, T. Sasagawa, et al. Expression of Epstein-Barr virus in mesopharyngeal and hypopharyngeal carcinomas. *Hum Pathol* 30, 1071-1076, 1999.
6. 笹川寿之、瀬川智也、井上正樹パピローマウイルスの診断法、 臨床検査 Vol. 43. No. 3, 329-341, 1999.
7. 笹川寿之、坂井明美、島田啓子 他 北陸地方の正常女性、妊婦におけるヒトパピローマウイルス感染。北陸公衆衛生学会 26(1), 1-5, 1999
8. I. Ninomiya, T. Hashimoto, S. Fushida, Y. Endo, T. Sasagawa, et al. Alteration of b-catenin expression In esophageal squamous carcinoma. *Int J.Cancer*, in press, 2000.
9. T. Sasagawa , M. Shimakage, et al. Epstein-Barr virus (EBV) genes expression in cervical intraepithelial neoplasia and invasive cervical cancer: A comparative study with human papillomavirus (HPV) infection. *Human Pathol.* in press, 2000.
10. T. Sasagawa, Y. Minemoto, W. Basha, H. Yamazaki, M. Nakamura, H. Yoshimoto, J. Sakaike, and M. Inoue. A new PCR-based assay amplifies the E6-E7 genes of most mucosal human papillomaviruses (HPV). *Virus Res.* in press, 2000.
11. M. Shimakage, K. Kawahara, N. Kikawa, T. Sasagawa, M. Yutsudo, H. Inoue. Downregulation of drs mRNA In human colon adenocarcinoma. *Int J. Cancer*, In press, 2000.

(2) 口頭発表

- |      |  |
|------|--|
| 瀬川智也 | 子宮頸部病変における FHIT 遺伝子の異常と HPV 感染における E6/E7 遺伝子の発現に関する検討<br>日本産婦人科学会腫瘍マーカー・遺伝子診断学会<br>平成 10 年 2 月 5-6 日 |
| 笹川寿之 | HLA class II 抗原タイプと子宮頸癌発症との相関関係<br>日本産婦人科学会腫瘍マーカー・遺伝子診断学会<br>平成 10 年 2 月 5-6 日                       |

- 笹川寿之 ヒトパピローマウイルスと子宮頸癌 (Bethesda system, HPV  
 に対する宿主免疫応答について)  
 日本細胞診学会・富山支部 平成 10 年 2 月 28 日
- 笹川寿之 HPV による子宮頸部発癌と宿主免疫応答  
 日本産婦人科学会・石川支部 平成 10 年 3 月 15 日
- 瀬川智也 子宮頸部病変における FHIT 遺伝子の異常と HPV 感染における  
 E6/E7 遺伝子の発現に関する検討  
 日本産婦人科学会 平成 10 年 4 月 18-21 日
- 笹川寿之 Genetic aspect of cervical cancer; Human papillomavirus  
 infection and molecular events of the development of  
 cervical cancer.  
 国際臨床細胞診学会 平成 10 年 5 月 12-13 日
- 瀬川智也 子宮頸部病変における FHIT 遺伝子の異常と HPV 感染における  
 E6/E7 遺伝子の発現に関する検討  
 日本産婦人科病理コルポスコープ学会 平成 10 年 7 月 15-16 日
- 笹川寿之 子宮頸癌における Epstein-Barr virus の発現  
 日本癌学会 平成 10 年 9 月 30 日~10 月 2 日
- 島影美鈴 舌癌組織における Epstein-Barr virus の発現  
 日本癌学会 平成 10 年 9 月 30 日~10 月 2 日
- 瀬川智也 Differential display 法による卵巣癌特異的遺伝子の単離 ;  
 beta-catenin 遺伝子と卵巣癌発生との関係  
 日本癌学会 平成 10 年 9 月 30 日~10 月 2 日
- 笹川寿之 Differential display 法による卵巣癌特異的遺伝子の単離 ;  
 beta-catenin 遺伝子と卵巣癌発生との関係  
 日本産婦人科学会北日本連合地方部会 平成 10 年 10 月 2-3 日
- 山崎洋 新しい LCR-E7 PCR 法と市販の E6-E7 PCR, Captured assay

法の比較検討：粘膜型 HPV の混合感染の検出  
日本産婦人科学会北日本連合地方部会 平成 10 年 10 月 2-3 日

- 笹川寿之 HPV 感染について  
大阪 STD 研究会 平成 10 年 12 月 17 日
- 笹川寿之 子宮頸癌とその前癌病変における Epstein-Barr virus の発現  
日本産婦人科学会 平成 11 年 4 月 10-13 日
- 王 宅 Differential display 法による卵巣癌特異的遺伝子の単離 ;  
beta-catenin 遺伝子と卵巣癌発生との関係  
日本産婦人科学会 平成 11 年 4 月 10-13 日
- 山崎洋 新しい LCR-E7 PCR 法と Captured assay 法の比較検討 : 子宮  
頸癌に関与する粘膜型 HPV の感染の検出  
日本産婦人科学会 平成 11 年 4 月 10-13 日
- 水本泰成 子宮内膜癌における Fhit protein の欠失と臨床病理学的考察  
日本産婦人科学会北日本連合地方部会 平成 11 年 8 月 27-28 日
- 笹川寿之 子宮頸癌多段階発癌と HPV 感染  
日本癌学会 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日
- 大家理恵 食道癌におけるケラチン分子 K4-K13  
日本癌学会 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日
- 二宮致 食道癌における beta-catenin 発現状態及び遺伝子変異の検討  
日本癌学会 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日
- 島影美鈴 Mycosis fungoides を含む皮膚 T 細胞リンパ腫における  
Epstein-Barr virus の発現  
日本癌学会 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日
- 山崎洋 HPV 感染パターンと子宮頸癌発生との関係 : HPV ワクチンの  
開発に向けて  
日本癌学会 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日

笹川寿之

尿と子宮頸部粘液検体を用いた HPV と Chlamydia  
trachomatis 感染の検出法

日本性感染症学会

平成 11 年 12 月 5 日